

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-517255(P2001-517255A)

【公表日】平成13年10月2日(2001.10.2)

【出願番号】特願平10-540503

【国際特許分類第7版】

C 10 G 11/05

【F I】

C 10 G 11/05

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月18日(2005.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成17年2月18日



特許庁長官 小川 洋 殿

## 1 事件の表示

平成10年特許願第540503号

## 2 補正をする者

名 称 モービル・オイル・コーポレイション

国 籍 アメリカ合衆国

## 3 代理人 〒107-0052

住 所 東京都港区赤坂3丁目2番12号

赤坂ノアビル8階

電話 03-3586-0108 (代表)

氏 名 (6006) 弁理士 奥 山 尚 男



(ほか2名)

## 4 補正対象書類名

請求の範囲

## 5 補正対象項目名

請求の範囲

## 6 補正の内容

別紙の通り。



## 請求の範囲

1. 高収率のC<sub>3</sub>～C<sub>5</sub>オレフィンを生成するための炭化水素原料を接触分解する方法であって、再生ステップで製造される蒸気の存在下で触媒が不活性化される流動接触分解方法において、前記原料を、約1～約12の制約指数(Constraint Index)と0.2ミクロンより小さい結晶サイズを有するリン含有ゼオライトとを含む添加剤成分と、約7オングストロームより大きい細孔サイズを有する大型細孔分子ふるいである分解触媒とを含んでなる触媒組成物と、接触させるステップを含んでなる接触分解方法。
2. 前記添加剤成分のゼオライトが0.1ミクロンより小さい結晶サイズを有することを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
3. 前記添加剤成分のゼオライトが0.05ミクロンより小さい結晶サイズを有することを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
4. 前記添加剤成分のゼオライトが、ZSM-5、ZSM-11、ZSM-12、ZSM-22、ZSM-23、ZSM-35、ZSM-48、ZSM-57、PSH-3とMCM-22からなるグループから選択されることを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
5. 前記添加剤成分のゼオライトが、ZSM-5であることを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
6. 前記大型細孔分子ふるいが、ゼオライトYであることを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
7. 前記大型細孔分子ふるいに対する前記中型細孔ゼオライトの重量比が、約0.005～0.50であることを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
8. 前記大型細孔分子ふるいに対する前記中型細孔ゼオライトの重量比が、約0.001～0.25であることを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
9. 前記添加剤成分のゼオライトが、元素測定によって約0.1～約10重量%のリンを含むことを特徴とする請求項1に記載の接触分解方法。
10. 前記添加剤成分のゼオライトが、元素測定によって約1～約5重量%のリンを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。